

感染状況・医療提供体制の分析(4月19日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (4月12日時点)	現在の数値 (4月19日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	510人 (27.2人)	625人 (33.3人)	→	感染状況コメント レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている 陽性者は <u>人口10万人当たり33.3人</u> と微増。季節性インフルエンザ注意報発令継続中。 全国的にも下げ止まりの後、緩やかな増加傾向。今後も緩やかな増加傾向が継続すると予想される。接触機会の増加、免疫の減衰、変異株の置き換わり等が今後の感染状況に与える影響について注視が必要。体調不良時は外出しないと心掛けや、状況に応じた(感染を広げないため、感染から身を守るため等)マスクの適正使用が必要。
		60歳以上 (総数に占める割合)	129人 (25%)	177人 (28%)	→	
	②保健所別新規陽性者数	岡山市保健所	190人	236人	→	
		倉敷市保健所	97人	120人	→	
		備前保健所	52人	57人	→	
		備中保健所	80人	69人	↘	
		備北保健所	24人	64人	→	
		真庭保健所	7人	6人	→	
		美作保健所	35人	43人	→	
その他	25人	30人	→			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	20人 (3%)	29人 (5%)	→	医療提供体制コメント レベル1. 通常の体制で対応可能と思われる	
	④宿泊療養者数	11人	5人	↘	入院患者数は微増も、医療提供体制としては落ち着いている。リスクのある方が悪化しやすいのは変わらない。	
	⑤自宅療養者数	490人	557人	→		
	⑥重症者数	1人	1人	→		